

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	エコ・ミュージアム推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 東海大学、地域住民等】		
	目的・目標		事業の概要
地域市民の手により自然環境、歴史、文化遺産を保存、再生、修復、保護し、展示や伝承することで、地域の風土を守り、育てる意識が高まり、地域市民が地域に誇りをもち、地域全体が活性化し、住みやすいコミュニティが形成されています。		金目地区の自然環境、歴史、文化遺産を再認識し、保存・展示・活用するため、「エコミュージアム金目まるごと博物館」が策定した実施計画事業の実現に向けた取組みを推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	推進委員会開催回数			単位	回
	説明・算定式	総会、役員会を含む開催回数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	12	12	12	12	
	実績	10	12	12		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	登録会員数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	100	100	110	110	
	実績	73	74	76		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>地域内の「案内板」設置、地元及び市内に向けた情報発信として『金目エコだより(8～11号)』を継続発行し、事業普及を図りました。また、地元ガイドボランティアの会での「史跡巡り」や地元小学校への「出前講義」など、金目地区の自然環境、歴史、文化を活用したイベントや、平塚市博物館との春期共同特別展「水と生きる里一金目の風土とその魅力」を平成26年3月から5月に開催しました。</p>						
平成25年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	歴史、文化等に関する資源の特性を活かした、地域単位で実施する「エコミュージアムによる協働のまちづくり」であり、市、地域住民ともに取り組むべき価値がとて高い事業です。	● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	地域住民が、金目地域に誇りと愛着をもち、その魅力を広域的に発信する活動を通じて、新たな地域間コミュニティの形成や観光、経済に対する効果が期待されるほか住みやすいまちづくりにもつながり有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	文化遺産や花畑等の土地所有者やボランティア組織を活用した文化遺産の管理や街並みの整備、花畑の維持管理等を進める等、今後の事業展開に基づき、様々な可能性を含めて検討します。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> □ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 □ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	運営手法やコスト削減の面などにおいて、まだ検討の余地が残っています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 活動に参画する登録会員数の増加を図る必要もありますが、事業の参加人数を増やしていく等、事業の客観的な評価を図っていく必要があります。更に地域的な広がりを持った事業の展開を図る等、更なる発展を目指す必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		エコミュージアム実施計画事業の推進	エコミュージアム実施計画の充実・当初計画に基づく次期実施計画検討	歴史・文化遺産等の地域資源活用への取組みや活動への支援	歴史・文化遺産等の地域資源活用への取組みや活動への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	500	562	562	500
事業費 (A)		500	562	562	500
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.85	0.65	0.70	0.60
	再任用 (人)	0.30	0.30	0.00	0.00
人件費 (B)		7,897	6,231	5,564	4,688
フルコスト (A+B)		8,397	6,793	6,126	5,188

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 平成27年度は、各計画事業の具体化と充実を図ります。会員数を増加させるため、各種講習会や研修会等を通じて地域住民主体の幅広い参画を求めていくと同時に、事業の客観的な評価を目指し、各事業参加人数の増加を図っていきます。金目まるごと博物館委員会活動の効率的な取組みを検討し支援していきます。
課長コメント 金目まるごと博物館委員会で策定する基本計画及び実施計画に基づいた当事業を検証し、中・長期的な将来ビジョンを見据え、金目まるごと博物館委員会と行政が果たすべき役割分担について検討し、活動支援していくことが必要であると考えています。